

質問順位	6	質問者	本間保昭議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
1. 社会教育	1. 社会教育施設の複合化と市街地活性化について	1. 老朽化が進み耐震化を含めた改築もしくは大規模改修の必要に迫られている文化センターは、ボイラーをはじめ設備関係がいつ使用不能となっても不思議ではない状況であります。また、美術自然史館も今後多額の改修費用を要することは明らかであります。音楽公民館、郷土館、陶芸センター、新町書庫、こども科学館などの施設についても現状のままにはできません。 そして、スマイルビルのエレベーター問題で新年度からやむを得ず休止を決断した場合、たきかわホールの機能は今後どうするのか。すでに廃止した総合福祉センターの機能は十分に補完されているのか。などの問題も解決しなければなりません。 それぞれの施設を改築もしくは改修したとしても多額の費用を要することは言うまでもありません。また、それぞれの独立した施設には多額の運営費を要しています。建設費及び運営費はより効率的でなければなりません。 8月7日に開催した文化ゾーン活性化とその検証を目的としたイベントにおいては、各施設が離れた場所にあることにより一体感または相乗効果を図ることが困難であることと、周辺への波及効果が限定的である印象を強くもちました。 前述の要素を総合的に勘案し、継続すべきと判断されるのであれば、すべての機能を複合化し新設することが有効ではないでしょうか。 さらには、その複合施設を市街地に立地させるべきと思っています。 社会教育施設のみならず、女性活躍センター、CCRCとの連携、リブラーン、国際交流協会、観光協会、く・る・る、子育て支援施設などの機能の付加、イベントスペースやマルシェ、レストランを併設するなど日常的な賑わいを意識した複合施設とすることにより、店舗の出店や地価の上昇など周辺への波及効果につながり、さらには市外からの集客施設として発展するものにしてはいかがでしょうか。 新設の場所についてはいくつかの候補地はあると思いますが、状況の変化を見据えながら選定するとしても、このような複合施設を市街地に設置する準備は進めていくべきと思いますが、考えを伺う。		